

<特集「受動表現」>

モンゴル語チャハル方言における受動表現 Passive Expression in Chakhar Mongolian

ホリロ
Haorile

東京外国語大学大学院総合国際学研究科
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は特集「受動表現」(『語学研究所論集』第14号, 2009, 東京外国語大学)に寄与する。本稿の目的は10個のアンケート項目に対するモンゴル語チャハル方言のデータを与えることである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on 'passive expressions' (Journal of the Institute of Language Research 14, 2009, Tokyo University of Foreign Studies). The purpose of this paper is to offer the Chakhar Mongolian data for the question of 10 phrases.

キーワード: モンゴル語, チャハル方言, 受動

Keywords: Mongolian, Chakhar dialect, passive

1. はじめに

モンゴル語チャハル方言は、中国内モンゴル自治区で話されている方言の一つであり、中国領内のモンゴル語の標準音を示すとされている方言である。インフォーマントのサイナー氏(1963年, シリンゴル盟フートシャル旗生まれの女性)は日本語力を有するため、調査は日本語を媒介言語にして行った。本稿で扱うチャハル方言の音素目録は次の通りである: /p, b, t, d, č[tʃ], j[dʒ], s, š[ʃ], g, x, m, n, ŋ, r, l, w, j, nʲ, ʎ, rʲ, bʲ, mʲ, tʲ, dʲ, gʲ, xʲ; a, aa, ə, əə, i, ii, ɪ, ɪɪ, ɔ, ɔɔ, ʊ, ʊʊ, o, oo, u, uu, æ, ææ, œ, œœ, ee, oi, ui, ʊɪ, ʊæ, ʊa, ue/.

2. データ

(1) AはBに叩かれた。(直接受身)

a. dɔɽʃ batɔʊ-d/batɔʊ-g-aar jænʲč-i-gd-saŋ.
PSN PSN-DAT/PSN-EP-INS 殴る-EP-PASS-PST
「ドルジはバトに殴られた。」

b. batɔʊ dɔɽʃ-ɪg jænʲč-saŋ.
PSN PSN-ACC 殴る-PST
「バトはドルジを殴った。」



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

- c. *dɔɽʃ batʊʊ-g-aar ʃæn'č-ʊʊl-čix-saŋ.*
 PSN PSN-EP-INS 殴る-CAUS-PFV-PST
 「ドルジはバトに殴られた。」

(1a) は受身文であり, (1b) はそれに対応する能動文である. (1c) は動詞の使役形で受身の意味を表している. (1a) の受身文では, 能動文の行為者が与位格でも道具格でも現れうる. モンゴル語ハルハ方言では動詞の使役形が用いられ, 受身形が用いられない (温品 2009: 193). 一方, チャハル方言では受身形のほか使役形もまれに用いられるが, その場合行為者が与位格ではなく, 道具格で現れる.

(2) A は B に足を踏まれた. (持ち主の受身, 体の部分)

- a. *dɔɽʃ batʊʊ-d/batʊʊ-g-aar xol-ooŋ gəʂg-uul-čix-səŋ.*
 PSN PSN-DAT/PSN-EP-INS 足-REFL 踏む-CAUS-PFV-PST
 「ドルジはバトに足を踏まれた。」

- b. *batʊʊ dɔɽʃ-ii xol-ii gəʂig-čix-səŋ.*
 PSN PSN-GEN 足-ACC 踏む-PFV-PST
 「バトはドルジの足を踏んだ。」

(2a) は使役形で受身の意味を表しており, (2b) はそれに対応する能動文である. このような持ち主の受身では, 受身形が用いられず, 使役形で表される. 使役文では動作主が与位格でも道具格でも現れることができ, 能動文では体の部分を示す名詞が対格で現れる. インフォーマントによれば, (2a) よりも (2a) のほうがより自然な表現であるという. 完了を表すアスペクト接尾辞 *-čix¹* を用いることで, その動作や行為の意外性が表されている.

(3) A は B に財布を盗まれた. (持ち主の受身, 持ち物)

- a. *dɔɽʃ batʊʊ-d ʃʊʊsəŋ bəŋč-ʊʊŋ xʊlɡææl-ʊʊl-čix-saŋ.*
 PSN PSN-DAT お金 (の) カバン-REFL 盗む-CAUS-PFV-PST
 「ドルジはバトに財布を盗まれた。」

- b. *dɔɽʃ batʊʊ-g-aar ʃʊʊsəŋ bəŋč-ʊʊŋ xʊlɡææl-a-gd-čix-saŋ.*
 PSN PSN-EP-INS お金 (の) カバン-REFL 盗む-EP-PASS-PFV-PST
 「ドルジはバトに財布を盗まれた。」

- c. *batʊʊ dɔɽʃ-ii ʃʊʊsəŋ bəŋč-ii xʊlɡææl-čix-saŋ.*
 PSN PSN-GEN お金 (の) カバン-ACC 踏む-PFV-PST
 「バトはドルジの財布を盗んだ。」

持ち主の受け身 (持ち物) の例文では, 能動文 (3c) を用いるのがもっとも自然であるが, 受身文 (3b) や使役文 (3a) も成立する.

¹ 大文字は母音調和による異形態があることを示す.

- (4) 昨日の夜, 私は赤ん坊に泣かれた。それでちっとも眠れなかった。(自動詞からの間接受身)

očogdor ɔrææ xuuxəd ʊil-aad bii ʊnt-a-ʃ čid-saŋ-gʊʊ.
昨日 夜 子供 泣く-CVB.PFV 1SG.NOM 寝る-EP-CVB.IPFV 入る-PST-NEG

「昨日の夜, 子供が泣いて, 私は眠れなかった。」

ʊil-「泣く」のような自動詞からの受身は不可能であり, (4) のように能動文によって表現される。

- (5) 新しいビルが (A によって) 建てられた。(モノ主語受身, 一次的)

a. šin asar bæɾ¹-a-gd-čix-ʃææ.
新しい ビル 建てる-EP-PASS-PFV-PST

「新しいビルが建てられた。」

b. šin asar bəs-čix-ʃææ.

新しい ビル 立つ-PFV-PST

「新しいビルが建った。」

(5a) は受身文であり, (5b) は能動文であり, どちらも自然な表現であるという。「新しいビルが (人) によって建てられた」を表す場合, 次の (5c) のような能動文が用いられる。

c. dɔɾʃ šin asar bæɾ¹-saŋ.
PSN 新しい ビル 建てる-PST

「ドルジは新しいビルを建てた。」

- (6) カナダではフランス語が話されている。(モノ主語受身, 恒常的. 動作主が問題にならない場合)

mɔŋgɔl-d mɔŋgl-ɔɔr jær¹-dag.
モンゴル-DAT モンゴル-INS 話す-VN.HBT

「モンゴルではモンゴル語で話している。」

ふつう能動文が用いられ, 受身文は用いられない。

- (7) 財布が (A に) 盗まれた。(モノ主語受身, モノ主語の背後に被影響者が想定される)

ʃɔʊʊŋ bɔgč-ɔɔŋ xʊlgææ-d ald-čix-laa.
お金 (の) カバン-REFL 泥棒-DAT 失う-PFV-PST

「(自分の) 財布が泥棒に盗まれた。」

この文では, 受身形が用いられない。対象物に再帰接尾辞が付くことで, 被影響者が特定できる。

- (8) 壁に絵が掛けられている。(モノ主語受身, 結果状態の叙述)

xəɾəm dəər ʃɔrag olg-oos-toi bææ-na.
壁 上 絵 掛ける-NMLZ-PROP ある-NPST

「壁に絵が掛けられている。」

このような内容に関しては受身文は用いられず, 物の静止状態を表す -AAstAi を用いる。

(9) A は B に／から愛されている。(感情述語の受身, 特に動作主のマーカ-に注目)

a. dɔlmaa dɔrj-i-d xæær-tææ.
 PSN PSN-EP-DAT 愛-PROP
 「ドルマーはドルジを愛している。」

b. dɔlmaa dɔrj-iig xææral-dag.
 PSN PSN-ACC 愛する-VN.HBT
 「ドルマーはドルジを愛している。」

この文は, 受動表現が用いられず, (9a) と (9b) のような能動表現が一般的である。

(10-1) A は B に／から「...」と言われた。(伝達動詞の受身, 特に動作主のマーカ-に注目)

dɔrj batɔɔ-g-II / batɔɔ-d margaaš ir-ø gə-ʃ xəl-səŋ.
 PSN PSN-EP-ACC / PSN-DAT 明日 来る-2.IMP という-CVB.IPFV 言う-PST
 「ドルジはバトに「明日来て」と言った。」

ここでは受身文は用いられず, 能動文を用いる。なお, 動詞 xəl-「言う」の受身形 xələgd- は「咎められる」という意味を表すので, 「言われる」という意味で使用されない。

(10-2) A さんは B さんに呼ばれて, 今 B さんの部屋に行っています。

dɔrj batɔɔ-d dɔɔd-a-gd-aad tɔdn-ee gər-uud-ə=n jab-ʃu-n.
 PSN PSN-DAT 呼ぶ-EP-PASS-CVB.PFV 3PL-GEN 家-DIR-EP=3.POSS 行く-PROG-NPST
 「ドルジはバトに呼ばれて, (バトの) 家に行っている。」

(10-3) B さんが A さんを読んで, A さんは今 B さんの部屋に行っています。

batɔɔ dɔrj-iig dɔɔd-aad dɔrj ɔdɔ batɔɔ-nææ gər-uud-ə=n jab-ʃu-n.
 PSN PSN-ACC 呼ぶ-CVB.PFV PSN 今 PSN-GEN 家-DIR-EP=3.POSS 行く-PROG-NPST
 「バトはドルジを読んで, ドルジは今バトの家に行っている。」

(10-3) と比べて, 受身を用いた (10-2) のほうがより自然である。従属節と主節の主語が同一である場合, 自然な表現になると考えられる。

略語一覧

-	形態素境界	DAT	与位格	IPFV	不完了
=	接語境界	DIR	方向格	NEG	否定
ø	ゼロ接辞	EP	挿入音	NMLZ	名詞化
1, 2, 3	1, 2, 3 人称	GEN	属格	NOM	主格
ACC	対格	HBT	習慣	NPST	非過去
CAUS	使役	IMP	命令	PASS	受身
CVB	副動詞	INS	道具格	PFV	完了

POSS	所有	PSN	人名	SG	単数
PROG	進行	PST	過去	VN	形動詞
PROP	~持ちの	REFL	再帰		

参考文献

温品廉三. 2009. 「<特集「受動表現」>モンゴル語」東京外国語大学『語学研究所論集』第14号. pp.193-197.

執筆者連絡先 : horlo2009@yahoo.co.jp

原稿受理 : 2021年12月31日